

名 称	設 立	会 長	事 務 局 長	事 務 所
会津ユネスコ 研 究 会	昭和50年7月1日	坂 内 正 嗣	(事 務 係) 佐 藤 圭 子	会津若松市西七日町11～10 (会長宅)
郡 山 ユネスコ協会	昭和53年1月24日	佐 藤 信	藤 原 五 郎 (朝 日 生 命 取 締 役) 東 北 プ ロ ッ ク 長	郡山市清水台1-1-26 (朝日生命保険相互会社)
白 河 ユネスコ協会	昭和53年11月19日	鈴 木 完 一	八 田 部 孝 平 (白河市社会教育課長)	白河市教育委員会社会教育課

カ ユネスコ協会運営上の課題（事例発表）

### 3 ユネスコ（国際理解・国際協力）

#### 活動指導者養成研修会

#### (1) 趣 旨

ユネスコ活動を広く県内に普及浸透させるとともに、国際理解、国際協力に関する研修を行い、指導者層の拡大をはかり、ユネスコ活動を積極的に推進する。

#### (2) 期日、会場、参加者

##### ① 期 日

ア 昭和53年11月28日 郡山市

イ 昭和53年12月6日～7日 郡山市

##### ② 会 場

ア 郡山会場 郡山市立中央公民館

イ 白河会場 白河中央公民館

##### ③ 参加者数

ア 郡山会場 40名

イ 白河会場 95名

#### (3) 講師、助言者

##### ① 講 師

ア 郡山会場

日本ユネスコ協会連盟理事 関 谷 宗 一

県社会教育課主任社会教育主事 神野藤 忠 吉

イ 白河会場

NHK解説委員 高 野 洋

県社会教育課主任社会教育主事 神野藤 忠 吉

##### ② 助 言 者（郡山・白河会場）

須賀川地方ユネスコ協会会長 伊 東 勲

郡山ユネスコ協会会長 佐 藤 信

会津ユネスコ研究会会長 坂 内 正 嗣

いわきユネスコ協会青少年委員会委員長

赤 津 千 町

白河ユネスコ協会会長 鈴 木 完 一

#### (4) 内容及び方法

##### ① 研究主題

ユネスコ活動のすすめ方とユネスコ協会の設立促進

##### ② 講演、講義、事例発表、研究協議、情報交換

ア 国際社会と日本

イ ユネスコ活動のあり方

ウ ヨーロッパにおける社会教育事情について

エ ユネスコ協会設立のすすめ方と活動の推進

オ ユネスコ活動推進上の諸問題（研究協議）

## 第5節 家庭教育

### 1 概 要

最近の急激な社会構造の変動による日常生活や家族構成の変化、価値観の多様化は、親の子どもに対する教育観を混迷させ、家庭教育に対する自信の喪失を招いている。その結果数多くの新しい問題が生じており、家庭教育の振興充実が大きな課題となっている。

このため、第1の施策として、家庭教育学級、乳幼児学級の拡充を図った。家庭教育学級の本年度開設数は424学級で昨年度より1学級の増となり、乳幼児学級の開設数は46学級で、昨年度より7学級の増となった。

第2の施策として、家庭教育（幼児期）相談事業を実施した。これは、幼児期の家庭教育上の諸問題について、3歳第1子をもつ県内約22,700世帯の親に、はがき通信、テレビ放送により直接家庭に学習資料を届け、県内26会場で専門家による個別相談を実施するものであり、幼児期家庭教育の拡充に効果をあげた。

これらの事業の推進にあたっては、次の指導方針に基づいて拡充を図った。

#### (1) 家庭教育学級、乳幼児学級

- ① 関係者の理解を深め、開設数の増加を図るとともに、子どもの発達段階に応じた学級開設を促進する。
- ② 家庭教育について、地区や市町村独自の研修会の開催を促進し、学級運営の改善に資する。
- ③ 家庭教育に関する啓蒙及び学習の資料を提供し、効果的活用をすすめる。
- ④ 学級の編成や運営及び学習内容、方法の改善充実を図る。
- ⑤ P T A 等、社会教育関係団体による学級の開設をすすめる。

#### (2) 家庭教育（幼児期）相談事業

- ① 事業の趣旨について、対象者のみならず、一般に対しても周知するよう広報につとめる。
- ② 事業の実施にあたっては、市町村教育委員会及び関係機関との連携を深め、効果的な運営を図る。
- ③ テレビ放送「ちいさな世界」について、対象者や一般に周知し、視聴を促進するとともに、放送内容の充実を図る。